



Millennium Memorial Place

風景として継承する災害の記憶

「その場の出来事の記憶」
を「記憶の宿る風景」へ

2011年の東日本大震災の津波被災地にある鉄道沿線地域を対象とし、被災地が再び「自然」に移り変わる再野生化のプロセスの中でも、千年スケールの時間軸を想定し、その記憶を地域の生業・生活とも直結する文化的景観として継承しうるメモリアルプレイスの空間形態とその変容に着目したランドスケープデザインの提案を求めます。

JILA National Convention Student Landscape Design Competition 2021

2021 年度日本造園学会全国大会
学生公開デザインコンペティション



嵩上げ工事が進む気仙沼市本吉町津谷川河口付近 (2019.03)



本吉町赤牛漁港付近 (2019.03)



再野生化が進行する JR 気仙沼線跡と沿岸地域 (2019.03)

21 世紀に入り 20 年が経過しようとし、その期間に地殻変動の活性化による大震災、地球規模の温暖化の影響による豪雨等の自然災害が頻発しています。これら災害の記憶を 21 世紀初頭の私たちの経験として次の世紀以降まで継承するような場のデザインとその風景とはどのようなものでしょうか？

2011 年の東日本大震災の被災地の沿岸市街地では、流されてきた大きな船、なぎ倒された海岸林など多くの震災遺構は撤去され、街全体が嵩上げされています。その場で起こった出来事は写真・映像記録として保存されて、祈念施設やモニュメントにより知ることができますが、その場に宿る記憶を想起させる風景はそこにはありません。一方で、沿岸部の低平地の湿地化の進行や廃線となった鉄道の遺構である土手や高架が残されたまま、草木で線路が覆われていく姿が私たちに「負の記憶」を思い起こさせることもあり、そのありのままの風景も祈りの対象ともなりえます。金継ぎ茶碗のように、傷ついた大地とその再生プロセスを残しつつ、地域間をつなぎ止める媒体として捉え直すことで「その場の出来事の記憶」を「記憶の宿る風景」として継承することの意義が見いだせるのかもしれませんが。

本デザインコンペでは、2011 年の東日本大震災の津波被災地にある鉄道沿線地域を対象とし、被災地が再び「自然」に移り変わる再野生化のプロセスの中でも、千年スケールの時間軸を想定し、その記憶を地域の生業・生活とも直結する文化的景観として継承しうるメモリアルプレイスの空間形態とその変容に着目したランドスケープデザインの提案を求めます。

学生の皆様のチャレンジを期待しています。

応募条件

- 1) 応募資格は高校生、専門学校生、短大生、大学生、大学院生の個人またはグループとします。登録時に学生であれば応募時(作品提出時)に社会人でもかまいません。なお、高校生は一次審査のみとし、一次審査終了後、入賞者に連絡します。
- 2) グループの応募は 5 名以内とし、グループの場合は代表者を 1 名選定していただきます。
- 3) 専門分野は問いません(ランドスケープ、都市計画、土木、建築、デザイン等)。
- 4) パネルは日本語または英語、プレゼンテーションは日本語とします。英語のみを使用する者が応募する場合は、日本語によるプレゼンテーション(質疑応答を含む)が可能者と組んで、グループで応募してください。
- 5) 仙台メディアテークで行われる令和 3 年 5 月 21 日(金)の二次審査会(公開プレゼンテーション)と、東北工業大学で行われる 5 月 22 日(土)の表彰式への参加が必須です。グループによる応募の場合は、二次審査会および表彰式への全員の参加に努めてください。
- 6) 応募作品は未公表でオリジナルなものに限ります。アイデアや表現などにおける他者の作品との極端な類似が見られるなど、作品のオリジナリティが疑われる場合は、その作品を失格とする場合があります。

対象地

廃止された JR 気仙沼線(柳津駅～気仙沼駅間)の沿線地域の鉄道跡が残存するエリアの内、気仙沼市本吉町内の大沢、小金沢、赤牛、谷地、前浜、田の沢、日門、九多丸、三島(大谷海岸)から自由に設定してください。くれぐれも橋りょう等を含む鉄道設備、また、BRT 専用道含む敷地・施設には立ち入らないようお願いいたします。

提出物

- 一次審査用提出物：A1 サイズパネルと PDF データ
A1 (594×841 mm) 用紙 2 枚まで自由にレイアウト。横長方向で使用し、縦 2 枚並び。5 mm 程度の厚さのパネルに貼って提出してください。パネルにフレームを付け不要とさせていただきます。すべてのパネル裏面右上隅に「登録番号」(サイズ 5 cm×5 cm)を記載してください。
- 二次審査用提出物は募集要項を参照のこと。

スケジュール

- 1) 登録期間
2021 年 2 月 1 日(月)～4 月 16 日(金) 17 時
- 2) 作品の受付
2021 年 4 月 30 日(金)～5 月 7 日(金)(必着)
- 3) 一次審査会 2021 年 5 月 9 日(日)
- 4) 二次審査会 2021 年 5 月 21 日(金)
@せんだいメディアテーク 1F オープンスクエア
- 5) 審査結果発表・表彰式
2021 年 5 月 22 日(土)
@東北工業大学八木山キャンパス

表彰の内容

- 最優秀賞(1点) 賞状、賞金(5万円)
優秀賞(2点) 賞状、賞金(2万円)
佳作(7点程度) 賞状、賞金(1万円)

募集要項

日本造園学会ホームページ「全国大会」
<https://www.jila-zouen.org/annualmeeting>

登録

右記アドレスに必要な事項(応募者氏名、所属(グループの場合は代表者氏名および構成員の氏名、全員の所属)、代表者の住所、Eメールアドレス、電話番号)を記入し、「コンペ登録希望」をタイトルに入れたメールを送付すること。問い合わせ・送付：学生デザインコンペ事務局 jilacompe@jila-zouen.org (担当：阿部伸太)

作品提出先

〒156-8502 東京都世田谷区桜丘 1-1-1 東京農業大学造園科学科 阿部伸太(アベ シンタ) TEL: 03-5477-2664
*「日本造園学会学生公開コンペ作品在中」と朱書きすること。

審査委員会

審査委員長：
宮城俊作(東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻教授/PLACEMEDIA)
審査委員：
武田史朗(立命館大学理工学部建築都市デザイン学科教授)
乾久美子(乾久美子建築設計事務所/横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院教授)
平岡善浩(宮城大学事業構想学群教授)
槻橋 修(神戸大学大学院工学研究科建築学専攻准教授)
赤坂憲雄(学習院大学文学部日本語日本文学教授)

学生コンペティション企画運営委員

霜田亮祐(千葉大学)・渡部桂(東北芸術工科大学)・向山雅之(竹中工務店)・阿部伸太(東京農業大学)